

2018年度 第12回「建築九州賞(作品賞)」候補作品 募集要項

主催：(一社)日本建築学会九州支部 共催：(公社)日本建築家協会九州支部・沖縄支部 日本建築学会九州支部鹿児島支所

日本建築学会九州支部では、九州地方における建築水準の発展に寄与し、学会と地域社会の交流を図ることを目的に、日本建築家協会九州支部ならびに沖縄支部との共催で「建築九州賞(作品賞)」を2007年度に創設しました。本年度も第12回の募集・選考を行い、九州地方の地域性に立脚してその建築文化や環境形成の向上に貢献した優秀な建築作品を顕彰します。会員諸氏をはじめ、広く一般の建築関係者の積極的なご応募を期待します。

なお、今年度の九州建築作品発表会(第2次選考会)は、日本建築学会九州支部鹿児島支所との共催で9月15日(土)に鹿児島大学稲森会館(鹿児島市)において開催します。

協賛：	(一社)日本建築構造技術者協会九州支部	(一社)日本電設工業協会九州支部	(公社)福岡県建築士会
	(公社)大分県建築士会	(一社)宮崎県建築士会	(一社)福岡県建築士事務所協会
	(一社)鹿児島県建築士事務所協会	(一社)福岡県建設業協会	
後援：	(公社)日本建築積算協会九州支部	(一社)建築設備技術者協会九州支部	(一社)長崎県建築士会
	(公社)熊本県建築士会	(公社)鹿児島県建築士会	(公社)沖縄県建築士会
	(一社)長崎県建築士事務所協会	(一社)熊本県建築士事務所協会	(一社)大分県建築士事務所協会
	(一社)宮崎県建築士事務所協会	(一社)沖縄県建築士事務所協会	(一社)佐賀県建設業協会
	(一社)長崎県建設業協会	(一社)熊本県建設業協会	(一社)大分県建設業協会
	(一社)宮崎県建設業協会	(一社)鹿児島県建設業協会	(一社)沖縄県建設業協会
	(一社)沖縄県設備設計事務所協会	(一社)福岡電業協会	(一社)宮崎県電業協会

1. 賞の概要

本賞は、九州地方の地域性に立脚してその建築文化や環境形成の向上に貢献した優秀な建築作品を顕彰することを目的とし、住宅部門と一般建築物部門の2つの部門において選考を行います。選考にあたっては、建築各分野の委員による選考部会を組織し、応募者による作品発表会や現地調査を実施して作品評価を行い、表彰作品を決定します。

また、優れた建築作品を一般市民へ広く紹介するため、「九州作品発表会(第2次選考)」を公開で行うとともに、記録誌「九州建築選2018」を発行し、九州地方の公共機関・図書館及び大学・学校等に広く寄贈します。

なお、今年度の九州建築作品発表会は、2018年9月15日(土)に鹿児島大学稲森会館(鹿児島市)で開催します。

2. 応募条件

過去5年間に九州地方に建設された建築作品(2013年4月～2018年3月に竣工したもの)を対象とします。

応募者は、建築作品の設計者・建築主・施工者のいずれかであることとし、応募者の資格は問いません。ただし、第1次選考(書類選考)を通過した作品の応募者(代表者)は、「九州建築作品発表会(2018年9月15日(土))」において発表を行うことを要します。

なお、過去に本賞に応募し「九州建築作品発表会」で発表された作品、また、選考部会の委員が直接携わった作品の応募は認めません。

3. 応募手続

3-1 応募部門

応募部門は住宅部門と一般建築部門の2部門です。住宅と他の用途が複合した作品の応募部門は、作品の特徴を踏まえて応募者が判断してください。

3-2 応募書類の様式

別紙の応募書類作成・提出要領に則って「応募申込書」と「作品説明書」を作成してください。各書類様式のデータは、日本建築学会九州支部ホームページからダウンロードできます。

・ホームページ：<http://news-sv.ajj.or.jp/kyushu/>

3-3 応募書類の提出方法

応募書類の提出は、応募書類作成・提出要領(別紙)に指定したデータ形式でe-mailに添付して以下のアドレスへお送り下さい。なお、紙媒体での応募は受け付けません。

・応募受付メールアドレス：pak_jimu@me.com
(建築九州賞(作品賞)運営事務局)

3-4 応募書類の受付期間

・受付開始：2018年5月7日(月) 午前10時から
・受付締切：2018年6月18日(月) 午後5時まで(必着)

3-5 応募書類の受理確認

応募書類の受理後、事務局で提出データを確認し、翌日までに受理メールを返信します。なお、データの読み取りエラーが起きた場合は再提出を求められることがあります。

3-6 応募費の納付

1) 応募料 (全応募者)

応募者は、応募書類の受理メールを受信した後、1作品につき3,000円の応募料を2018年6月19日(火)までに以下の口座に振り込んでください。期日までに振込みがなかった場合は失格となります。

また、応募料を納付した応募者には、1作品につき記録誌「九州建築選2018」1部を後日贈呈します。

・振込先:

西日本シティ銀行 箱崎支店 普通預金 No.2017561
(社)日本建築学会九州支部 建築九州賞運営協議会

2) 建築選掲載料 (第1次選考通過者)

第1次選考を通過した作品の応募者は、1作品につき55,000円を2018年9月7日(金)までに納めてください。なお、詳しい納付方法は、第1次選考結果の通知とあわせてお知らせします。

第1次選考通過作品は記録誌「九州建築選2018」に収録します(「6.広報」参照)。また、その応募者には後日、1作品につき記録誌5冊を贈呈し、さらに、第2次選考を通過した場合は5冊を追加贈呈します。

4. 選 考

4-1 選考体制

本賞の選考は、総合的な観点から応募作品を評価することを重視し、日本建築学会九州支部役員会、同研究委員会、日本建築家協会九州支部及び沖縄支部から推薦された次の10名による作品賞選考部会が行います。

- ・ 部長 福田 展淳 (元常議員)
- ・ 委員 淵上 貴由樹 (常議員)
- 黒川 善幸 (材料・施工委員会)
- 姜 優子 (構造委員会)
- 小島 昌一 (環境工学委員会)
- 徳田 光弘 (建築計画委員会)
- 磯田 節子 (都市計画委員会)
- 太記 祐一 (建築歴史・意匠委員会)
- 西岡 弘 (JIA九州支部)
- 運天 勲 (JIA沖縄支部)

4-2 選考手順

次の3段階の選考を行って表彰作品を決定します。

1) 第1次選考: 応募書類をもとに選考し、本賞の趣旨に沿う建築提案が明瞭な作品(両部門で計30作品程度)を第2次選考対象作品とします。その応募者には、「九州建築作品発表会」でのプレゼンテーション及び記録誌「九州建築選2018」の原稿提出を求めます。

2) 第2次選考: 「九州建築作品発表会(2018年9月15日(土)に鹿児島大学稲森会館(鹿児島市郡元1-21-40)にて開催)」での応募者による作品説明(1作品あたり7分以内)及び質疑をもとに選考し、建築提案の内容や表現が優れた作品(両部門で計12作品程度)を第3次選考対象作品とします。その応募者には、現地調査への同行と詳しい図面等の資料提出を求めます。

3) 第3次選考: 選考委員が分担して現地調査を実施し、その結果をもとに最終選考を行い、表彰作品(作品賞、JIA特別賞)を決定します。作品賞は、本賞の趣旨にふさわしい総合的に優れた作品(原則として両部門で計3作品以内)に授与し、また、JIA特別賞は、特に地域の建築についての独自の視点や新しい意匠並びに技術の提案が評価される作品(原則として両部門で計1作品以内)に授与します。

4-3 選考基準

次にあげる視点から応募作品を総合的に評価します。

- ①場所性と環境を反映した建築提案が優れていること。
- ②時代性をふまえた表現力が優れていること。
- ③技術力が優れていること。
- ④地域への貢献および文化度が高いこと。

5. 表 彰

作品賞及びJIA特別賞の表彰式は、日本建築学会九州支部総会(2019年5月下旬)で行います。また、表彰作品の応募者を含む設計者・建築主・施工者それぞれに賞状を授与します。

6. 広 報

本賞を通じ、九州地方に近年建設された優れた建築作品を一般市民へ広く紹介するため、以下を行います。

- ①支部ホームページでの広報: 選考経過及び表彰作品の概要を支部ホームページに掲載します。
- ②作品発表会の公開: 「九州建築作品発表会(第2次選考)」を一般公開で行います。
- ③記録誌の発行: 表彰作品を含む第1次選考通過作品の概要及び選考経過等を収録した「九州建築選2018」を2019年3月に発行します。
- ④公共団体・図書館・学校等への記録誌の寄贈: 本賞記録誌「九州建築選2018」を、九州地方の県市町村役所(建築関係部署)、県市町村立図書館、県立美術館、高校・専門学校・大学(建築系学科)等、約650箇所に寄贈します。

7. そ の 他

- ①写真等の著作権処理について: 応募書類及び「九州建築選2018」に掲載する写真や図面類の著作権処理は応募者の責任で行ってください。
- ②選考結果の通知について: 第1~3次選考の結果は、各選考会後速やかに応募者へメール配信します。通知時期は、第1次選考結果7月上旬、第2次選考結果9月上旬、第3次選考結果1月下旬の予定です。
- ③応募書類の取扱いについて: 応募書類(データ)は応募者に無断で選考以外の目的に用いることはありません。また、選考終了後、速やかにデータを抹消します。

8. 問合せ先

応募に関するお問い合わせは、以下までメールでお願いします。

日本建築学会九州支部 建築九州賞(作品賞)運営事務局
e-mail: pak_jimu@me.com (担当: 志賀)

<別紙>

2018年度 第12回「建築九州賞(作品賞)」 応募書類作成・提出要領

1. 概要

本賞の応募者は、「応募申込書」と「作品説明書」を以下のとおり作成し、指定されたデータ形式で提出してください。

2. 書類様式のデータダウンロードについて

応募書類の各様式は、日本建築学会九州支部ホームページ (<http://news-sv.ajj.or.jp/kyushu/>) からダウンロードしてください。

1) 応募申込書様式: S01_PAK18.doc

2) 作品説明書様式: S02_PAK.pdf または
S02_PAK.ai (Adobe Illustrator CS2, CS5, CC 形式)

3. 応募申込書の作成について

3-1 作成方法

「S01_PAK18.doc」に応募部門、応募作品、応募者、連絡先を記入してください。

3-2 提出データの形式

提出データは様式と同じデータ形式 (.doc) とし、PDFには変換しないでください。また、ファイル名は「S01_PAK18_作品名.doc」とし、作品名は8文字以内に省略して記してください。

3-3 作成にあたっての留意事項

- 「作品名称」「応募者氏名」は作品説明書に記載した内容と必ず一致させて下さい。
- 応募締切後の応募者の追加や削除、ならびに、九州建築作品発表会での応募者以外の代理発表は一切認めません。これらに留意して応募者の責任で関係者の承諾を得て応募してください。

4. 作品説明書の作成について

4-1 作成方法

「S02_PAK.pdf」または「S02_PAK.ai」に則って、3枚(出力サイズ:A4版)に次の項目をレイアウトしてください。

○1 枚目:

- ・ 作品名称と応募者氏名・所属。
- ・ 作品の概要を示す写真やコンセプト図。
- ・ 作品の計画・設計趣旨や建築的特徴をまとめた文章。

○2~3 枚目:

- ・ 作品の空間構成及び特筆する点を示す図面、コンセプト図、写真、及びそれらの解説文。なお、図面掲載は必須。
- ・ 作品の概要を示す写真やコンセプト図。
- ・ 作品の建物概要。

4-2 提出データの形式

作品説明書はPDF(3枚1組、総容量5MB以下(圧縮ソフト使用不可))に変換して提出してください。また、ファイル名は「S02_PAK_作品名.pdf」とし、作品名は応募申込書のファイル名表記と一致させてください。

なお、PDFはAdobe Reader(バージョン10以上)で読みとれることをあらかじめ確認して提出してください。

4-3 作成にあたっての留意事項

- 「作品名称」「応募者氏名」は応募申込書に記載した内容と必ず一致させて下さい。
- レイアウト位置や文字(フォント)の字体・サイズは様式の指定を守ってください。なお、「ゴシック体」「明朝体」の指定箇所はそれぞれ類する字体で結構です。

※補足事項

作品説明書は、第1次選考を通過した場合、記録誌「九州建築選2018」の原稿とし、あらかじめ編集用データを提出していただきます。また、作品説明書の1枚目は、九州建築作品発表会会場でのパネル展示にA3拡大印刷して用います。

このため、第1次選考通過後にご提出いただく編集用データは以下の点にご留意いただくことになります。あらかじめご承知おきください。

- ◎ 写真や図の著作権処理は応募者側で行い、適宜、撮影者や制作者のクレジットを表記すること。
- ◎ 写真や図の解像度は、カラー600dpi以上、モノクロ1200dpi以上とすること。(応募時は低解像度可)

5. 応募書類の提出について

5-1 応募書類の提出先及び提出期間

応募書類のデータは、e-mailに添付して以下のアドレスへお送り下さい。受付期間は、2018年5月7日(月)午前10時から6月18日(月)午後5時まで(必着)です。

- ・ 応募受付メールアドレス: pak_jimu@me.com
(建築九州賞(作品賞)運営事務局)

5-2 応募書類の受理確認及び提出後の差替え

応募書類の受理後、事務局で提出データを確認し、翌日までに受理メールを返信します。なお、データの読み取りエラーが起きた場合は再提出を求められることがあります。

6. その他

記録誌「九州建築選」のバックナンバーを国立国会図書館及び九州各県の県立図書館に納本し、また、2011年度版以降は市町村立図書館にも寄贈しております。作品説明書作成の参考としてご利用ください。また、日本建築学会九州支部事務局でバックナンバーの販売をしております。詳しくは支部ホームページをご覧ください。